

SDGs における防災科学技術の役割について

平成 31 年 4 月
地震・防災研究課
防災科学技術推進室

文部科学省では「持続可能な開発目標達成のための科学技術イノベーション (STI for SDGs) の推進に関する基本方針 (平成 30 年 4 月 17 日、8 月 31 日改訂)」(※1) を定め、これを受けた「STI for SDGs 文部科学省施策パッケージ (平成 30 年 8 月策定、12 月改訂)」(※2) を策定している。

「STI for SDGs 文部科学省施策パッケージ」では、SDGs における目標 11 に対応する主要な事業として、「海底地震・津波観測網の構築・運用」、「基礎的・基盤的な防災科学技術の研究開発の推進」、「地球観測衛星によるアジア太平洋地域の災害監視を目的とした国際協力プロジェクト「センチネルアジア」の推進」、「首都圏を中心としたレジリエンス総合力向上プロジェクト」の 4 施策が挙げられているが、SDGs の達成に向けては、これらに加えて、SDGs の達成を困難とする様々な社会課題に対応する防災関連の取組を併せて行うことが望ましい。

SDGs の達成を困難とする様々な社会課題の例

課題例 1 高密度な都市域 (高層集合住宅、木造密集地域) の脆弱性の解消

【問題意識】 高層集合住宅における、高性能であるが故の個々の防災意識の低さ
木造密集地域での大規模火災、自然災害発生時の甚大被害の発生可能性
⇒ 安全かつ強靱で持続可能な都市の実現 (目標 11、11.a/11.b) に資するのではないか。

課題例 2 高齢化が進展している地域・地区の安全確保

【問題意識】 地域・地区の高齢化が進み、避難等の防災活動の維持が困難になりつつある
⇒ 安全かつ強靱で持続可能な人間居住の実現 (目標 11、11.b)、気候変動や自然災害の影響を軽減するための対策 (目標 13、13.1) に資するのではないか。

課題例 3 産業集積地の持続発展

【問題意識】 企業城下町では企業存続＝地域存続であり、サプライチェーンを含む企業群の災害時における強靱性が、その地域の復興に大きく影響
⇒ 強靱なインフラ構築 (目標 9、9.1)、安全かつ強靱で持続可能な都市の実現 (目標 11、11.b) に資するのではないか。

課題例 4 過疎地域のインフラの維持

【問題意識】 過疎地域で特に脆弱なインフラ（交通、通信等）の強靱化を図るため、インフラ企業、自治体、住民らが協力して災害時に対応する体制を予め準備しておくことが有効
⇒ 強靱なインフラ構築（目標 9、9.1）、安全かつ強靱で持続可能な人間居住の実現（目標 11、11.2）に資するのではないか。

課題例 5 地域の防災情報の集積及び伝達並びに地域住民の防災情報リテラシーの向上

【問題意識】 地域の防災情報を誰もが利活用できる環境の整備が必要
防災情報を適切に利活用できるための防災教育が不可欠
⇒ 気候変動や自然災害の影響を軽減するための対策（目標 13、13.1）に資するのではないか。

※1 http://www.mext.go.jp/a_menu/kagaku/kokusai/sdgs/_icsFiles/afieldfile/2018/08/31/1408737_2.pdf

※2 http://www.mext.go.jp/component/a_menu/science/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2018/12/21/1408738_002_2.pdf

参考資料

- 我々の世界を変革する：持続可能な開発のための 2030 アジェンダ（仮訳）
<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/000101402.pdf>